



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第5号
令和3年 5月7日

うまい米は土づくりから ～引き継がれた水田～



給食にも毎日のように出てくるごはん(お米)は、小麦、トウモロコシとともに世界の3大食料とも呼ばれています。現在、世界中で栽培されているお米の品種は、何と1万種類を超えているそうです。

お米の起源は、紀元前数千年前までさかのぼります。お米作りは、今日まで長い時間をかけて人々の努力によって現代まで引き継がれてきました。

大和田南小学校でも毎年5年生が社会科や総合の学習で「大南米」作りを行ってきました。

昨年度の5年生(現6年生)は、調べ学習や体験を通して学んだ知識や技術を次の5年生に引き継ぎたいと考え、成果物を残してくれました。その一つがミニ水田です。

お米に限らず、作物を栽培するのに一番重要なことは「土づくり」です。昨年度の5年生は、収穫が終わった後、土づくりのために稲わらをはさみで細かく切り、土にすき込んでおいてくれました。こうしておくとも稲わらは、「善玉」の微生物によって分解され、“天然の肥料”となります。

しかし、学校の水田は、コンクリートで作られた花壇を転用しているため、水はけがよくありません。そのままにしておくと、水田に雨水がたまり、「悪玉」の微生物がメタンガスや硫化水素を生成します。そうなってしまえば、お米の収穫量が格段に下がります。そこで、昨年度の5年生は、水田の土をいったん外に出し、天日干しで、本来土がもっている力を最大限に引き出せるようにしておいてくれました。

先日、5年生は、昨年度の5年生から水田を引き継ぎ、土を戻しました。このあと田植えをします。秋が深まるころ、みんなの思いが詰まった水田は、子供たちに黄金色の稲穂をプレゼントしてくれるのではないのでしょうか。

日本十進分類法を知っていますか？～本を探すときの手がかり～

4年生の子供たちが学校司書の青野先生に「日本十進分類法」のきまりについて教えてもらっていました。図書室の本棚は、このきまりを使って、内容が似ている本を集めて並べてあります。本を探すときの手掛かりになるので、調べ物をするときに役立ちます。

また、この日は子供たちにもなじみが深い「あまんきみこ」さんの本について紹介していました。青野先生の先生のお話を聞いた後、多くの子供たちがあまんきみこさんの本を手にしたことは言うまでもありません。

